



ネット/ケータイ禁止をのりこえて 対感染症的対応の限界

岡田 朋之

携帯電話の高機能化とともに低年齢層にも利用が広がる中、メールやウェブを通じたいじめやトラブルが子どもたちの間で深刻化しているといわれる。犯罪に巻き込まれたり、自殺に追い込まれたりすることもしばしば見られ、学校現場でもその対応に追われるようになった。

こうした状況に対し、昨年12月に大阪府教育委員会が、橋下大阪府知事みずから会見を通じて、携帯電話の小・中学校への持ち込み禁止、高校での使用禁止を打ち出したことは、全国的にも反響を呼んだ。その後、文部科学省をはじめ、各自治体でも学校での携帯電話禁止の動きが広がっていった。

しかし、この対応については疑問を挟む関係者も少なくない。というのも、小学生以下の場合、低学年になるほど、子どもが欲しがるからというより、親の意向で持たせるケースの方が多い傾向があるからだ。一方、中学生以上にとっては、携帯電話のメールが日常において不可欠のコミュニケーション手段になっており、それが前提となったある種の「ライフライン」のように受け入れられている状況は、大人たちの利用感覚とは大きく異なっている。

問題が拡大した背景には、情報教育の遅れという問題も横たわる。2003年の学習指導要領の改訂以後、高校での「情報」科の導入をはじめとして、情報教育の拡充が図られたものの、実際には機器やソフトの使用に関する内容が多く、基礎的な知識やモラルなどの総合的な能力の向上などにはあまりウェイトが置かれてこなかった。学校での情報設備の充実も不十分な中では、いまやもつ

とも身近な情報メディアとなった携帯電話への適切な接し方を学ぶことで、そうした遅れをカバーできたはずである。しかし、学校への持ち込みや使用を禁じることによって、逆にこれらの対象を用いて教科の中で取り上げにくい状況を生み出してしまったことは否めない。

携帯電話やインターネットを家庭で与える親がきちんとしつけるべきだ、という声もある。だが、ネットを通じたいじめや誹謗中傷などは多くの場合学校のクラスなどの人間関係から生じるので、学校側の関与がなくては問題は解決しにくい。

今年3月、私は生徒指導学会という団体の研究集会において、パネルディスカッションのコーディネーターを務めさせていただいた。登壇者には学校現場の先生方や警察の元指導員の方などが並んだが、その中ではどのパネリストも口を揃えて「禁止では何も解決しない」と発言していたのが強く印象に残っている。

ネットや携帯電話をめぐる諸問題については、有害メディアの規制やフィルタリングなどの対策が叫ばれるものの、特効薬は存在しない。また機能そのものに内在する特性がいろいろな問題を引き起こすものであるため、一律に禁止するような除菌や隔離といった対感染症的な対応で解決できるものではない。むしろ、ガンや生活習慣病のように、そのリスクは日常生活の中に広く潜する。望ましいIT社会のためには、現状を踏まえつつ粘り強く取り組んでいかなければならない課題なのである。

(総合情報学部教授)

HEADLINE

3面 学長選挙を公示

現学長の任期が9月末をもって満了することから、学長選挙を行う。今号は、今後の日程ならびに手続きについて紹介する。

4-5面

「わたしたちから提案します!」 関大エコスタイル

関大生がエコについて考えていることや、実際に取り組んでいることを紹介する。エコをもっと身近に感じ、エコライフを体感しよう。

8面

「世界に飛び出せ関大生!」 留学ってどんな?」

「留学」の言葉を知き、どんなことを想像するだろうか? 学生広報スタッフが、留学や語学の学習方法などについて取材した。

特集「学生企画」

2面

4氏に名誉博士号授与

6面

3面

教職支援センター開設

6面

第32回総合関開闘戦が開幕

7面

エクスเทนション・リリーフセンター

「夏期集中・後期開講講座」受付を開始



先日、改装された甲子園球場でプロ野球を観戦した。ライブならではのスポットの臨場感、応援を通じて選手・ファンとの一体感を久しぶりに味わうことができた。阪神タイガースの選手たちが恵まれていることの一つは、多数の熱心なファンを持つことである。本学でも、体育会45クラブが活動し、近年多くの競技で優秀な成果を上げている。彼らは、文字どおりトップクラスのアスリートではあるが、関西大学の一員として、また身近な友人として日々活動している。▼本日から伝統の総合関開闘戦が開始される。第32回の今年は、関西学院大学で熱い戦いが繰り広げられる。多くの学生・教職員の方々に、この機会に国内外で活躍する本学トップアスリート達の激しい戦いを、是非とも観戦していただきたい。特に今まで観戦したことがない高いレベルのスポーツ競技に、一つでも二つでも足を運び、目撃は体感することができない臨場感やワクワク、ドキドキを感じてもらいたい。▼関西大学の名を背負って躍動する本学学生諸君の熱心なファンとなり、そのスポーツ競技の面白さとともに、関大生としての一体感を味わうことができる。

(岡田 弘行)



環境にやさしい使い捨て

木下 浩也さん (関西大学生協学生企画室 経済学部3年次生)

割り箸?今どき、何を言ってるの。今はMy箸でしょ。と思う方もいらっしゃるかもしれませんが。そんな方にこそ、もう一度見直して欲しいのが、間伐材の端材で作った「ECOな割り箸」。間伐材とは、立派な丸太(原木)を育成するために、過密に生えている木々の一部を計画的に伐採した木材のことです。その中心部は、建材な

どに利用されますが、建材を取ったあとの端材(写真)がたくさん残ります。それらを有効に活用しようと考えられたのが「割り箸」です。すべての割り箸が環境に悪いと、なんとなく思っていないですか。それは違います。「ECOな割り箸」は、木を最後まで使おうとする、「もったいない精神」から生まれたのです。そんな環境に優しい割り箸を、一度使ってみて! そんなあなたに、朗報です。総合学生会館メディアパーク凜風館2階大食堂テニシアには、奈良県吉野産の間伐材の割り箸があります。一度使ってみて下さい。また、関西大学生協学生企画室では「割り箸ツアー」を企画しているの、こちらにもぜひご参加ください。

関大エコスタイル Eco Style

わたしたちから提案します!

リサイクルという名のバトンタッチ

落合 美規さん (政策創造学部2年次生)

私は、卒業生が、自分が使った家具や家電を新入生に安い値段で譲るとい事業を提案します。リサイクルと聞くと、大変ありふれた話であると思いますが、卒業生が新入生に家具や家電を低価格で売るといシステムは新鮮で合理的です。私が何より民間のリサイクル業

者と差を付けたかったところは、ただビジネスとして売ってではなく、同じ「関西大学」というコミュニティーで期待を胸に、これから学ぶ人と感謝の気持ちを込めて出ていく人のバトンタッチの瞬間を、この事業を通して創りたいと考えています。そこで、2つの企画を考えました。

1つ目は、領収書の裏を贈った人の名刺にするというものです。そうすることにより、この場限りの関係で終わること無く、学生生活の相談や新生活の相談などができます。2つ目は、安全性の問題です。そこで専門家を数人招き、その他大勢を補助スタッフとして学内で募集し、検定を買ったという体制を取りたいと考えています。そうすることによって専門知

識が高まるだけでなく地域との交流も可能であると考えからです。

譲った方の特典として、学校にある施設を一定期間自由に利用できるようなにするということを考えています。そうすることで、卒業生が大学を訪れるきっかけ作りになるのではないかと考えます。また、この活動で知り合った卒業生同士が、学部を超えて良好な友人関係を築ききっかけとなり、最高の思い出作りになればと考えています。

簡単・便利☆あなたもはじめてみませんか!?

藤原はるかさん (ボランティアセンター学生スタッフ 政策創造学部3年次生)

去年の学園祭でMy箸袋を販売したことをきっかけに、余り布で作った箸袋にMy箸を入れて持ち歩くようにしています。いつでもどこでも取り出して意外と便利です。また、ちょっとした物が入られるエコバッグも鞆の中に忍ばせ、極力レジ袋を貰わないよう心掛けています。荷物が多い時などは普通の手提げ鞆として使っているの、買い物

の頻度にかかわらず大活躍です。家ではエアコンの温度を夏は28℃、冬は20℃に設定しています。寒がりなので冬はきつく感じることもあります。が、座る位置や風向きを考えるなど工夫しています。また、電気の節約にもなるので、テレビを見る時などは家族と同じ部屋で過ごすようにしています。そして無意識にやっていたことで

が、ご飯を残さないこともエコだと最近気がきました。残飯はゴミにもなりますし、エネルギーの無駄遣いです。何よりもったいないです。他にもゴミの分別やリサイクルに取り組むなど、環境に優しい行動はいろいろできます。「もったいない」という意識があれば、エコ生活は意外と簡単にできるのではないのでしょうか?



環境に適した住宅やまちづくりを提案

木村 達也さん (工学部4年次生)

建築学科では建物をデザインすることだけを学ぶのではなく、そこに暮らす人々の生活空間全般をデザインし、より豊かにすることを学んでいます。しかし、近未来に環境問題の深刻化や、エネルギー供給問題に直面するといわれています。そのような時代においても人々が豊かな住生活を送ることができるように、住生活のエネルギー消費について研

究を始めました。具体的には昨年、4月に暫定税率の撤廃でガソリン価格が下がり、一方で、8月には180円/Lを越えるなど、価格変動の大きな年でした。そのため2008年を社会実験が行われた年ととらえ、人々の消費行動を調査しようと考えています。また、経済産業省や環境省が発表する政策(太陽光発電の普及目標の制定

など)や予算(どういった対策に割当てられているかなど)などから、現在の日本の都市計画についても考えたいと思っています。今後長期的に続くと言われるエネルギー価格高騰時代や環境問題に対して、新たな消費者のライフスタイルを考えることで、環境共生に適した住宅やまちづくりを提案していきたいと考えています。

みどりのカーテンで涼しい夏を…

田所由佳梨さん (経済学部3年次生)

大阪の夏は地球温暖化とヒートアイランド現象の影響によって、ますます暑くなっています。そこで、クーラーを使わずに夏の暑さを和らげる、みどりのカーテンをご紹介します。みどりのカーテンとは、陽のある窓辺や壁で、ツル性の植物を育てて作る自然のカーテンのことです。葉が夏の暑い日差しを遮る

とともに、蒸散作用によって、周りの気温を下げてくれます。みどりのカーテンの外側と内側では、約5℃の気温差があるそうです。クーラーの使い過ぎは、健康に悪いうえに、電気代もかかります。環境にも健康にも、お財布にも優しいのが、みどりのカーテンです。最近、我が家では、窓辺にゴーヤの

苗を植えました。まだ植えたばかりなのに、ぐんぐん成長しています。夏に窓いっぱいのカーテンができるのを、楽しみにしながら育てています。ゴーヤ以外にも、きゅうりやアサガオなどさまざまな植物で簡単にできるので、窓辺やベランダで育ててみてはいかがでしょうか?



近頃は政府のエコ政策(エコカーやエコポイントなど)が、テレビや新聞・雑誌などで取り上げられ注目されています。主婦の間だけでなく、若者にもオシャレなエコバッグを持つことがステータスになっているエコブームのなか、みなさんもエコに関して色々考えていることや取り組んでいることも多いのではないのでしょうか?

本学でも毎年クールビズをはじめ、再生紙を利用したトイレットペーパーを使用するなどのエコを実施しています。今回は、実際にエコについて取り組んでいる学生のみなさんをクローズアップしてみました!紹介している人それぞれに共通していることは、楽しみながらエコに取り組んでいること。また、「エコって難しそう」というイメージが、一人ひとりの取り組みが、わたしたちが暮らす地球を大切にすることにつながります。みなさんもこれを機に、あらためてエコについて考えてみてはいかがでしょうか。

My箸&Myバックを持ち歩いてみませんか?

梅田 麻菜さん (ボランティアセンター学生スタッフ 社会学部2年次生)

昨年、わたしたちは学園祭期間にエコについての展示、エコバック・箸袋の販売、ゲームを行いました。エコバックは無



地の物を購入して頂き布用のペンで自由にイラストを書けるようにしたところ、家族連れに大人気でした。学生スタッフも学園祭以降、エコバック・箸袋を愛用しています。世界に1つだけのエコバック今振り返ってもMyバックを自分の好きなようにアレンジできるというのは本当に良いアイデアでした。たくさんの人々のコミュニケーションも学生生活で忘れられない思い出の1ページになったと思います。また、学園祭中は、分別しやすくするために学内

のゴミ箱に3種類の看板も設置しました。本学学生の皆さんに少しでもゴミ分別を意識してもらいたいと願いながらひとつひとつ心を込めて作成しました。そして毎月第1日曜日にはわたしたち学生スタッフが「ボランティア体験ツアー」と称し、淀川掃除も行っています。5月は連休中にもかかわらず、40名以上の学生が参加しました。受付は総合学生会館メディアパーク凜風館1階ボランティアセンターで行っています。興味がある方は



ぜひ参加してほしいと思います。このように学生スタッフは日頃からエコについて考えることが非常に多く、熱い心を持った人ばかりです。小さなことからコツコツと小さなことでも実践することこそ意味があります。この機会に皆さんもMy箸&Myバックを持ち歩いてみませんか?

My鞆&My水筒で、無理なくエコライフ!

前野 智大さん (経済学部3年次生)

私が個人的に行っているエコは、大きなMy鞆を持つことと、My水筒を持つことです。大きなリュックサックは荷物がたくさん入り、レジなどで「袋はいらないです」と言えるので無駄なゴミが出るのを防げます。毎日行く買い物だからこそ、一人ひとりがエコの意識を持てば、かなりのゴミが減ると思います。これなら無理

せず、誰にでも気軽にできるだろうと思います。もう一つは、My水筒を持つことです。今はおしゃれな水筒などがよく店頭と並んでいるので、おしゃれ感覚で水筒を持てます。これによって、夏場に毎日2本くらい買うジュースを飲む必要がなくなりました。お金の節約にもなりますが、ペットボトルや空き缶などの

ゴミを減らす効果もあり、誰でも気軽に簡単にできます。このように私のエコ生活のこだわりは、自分の生活に無理なく、身近なところからゴミを減らす心がけをすることで、みなさんも、この簡単エコ生活をしてみませんか?とても気分が良く生活できますよ!!

環境家計簿のススメ

清水 茉耶さん (経済学部3年次生)

環境家計簿をご存知ですか?環境家計簿とは、毎月の電気や水道、ガソリンなどエネルギーの消費量をCO2の排出量に換算して記録していくというものです。私は昨年1年分のデータをもとに環境家計簿をつくり、昨年の数値を少し

でも下回るように省エネを心がけています。特に夏や冬は冷暖房を使うためCO2排出量が高くなりやすいので、温度調節をこまめに行うなどの工夫が必要です。省エネ意識を持つことは、CO2排出量を減らすと同時に光熱費の節約にもなります。

「環境家計簿って面倒くさそう」と感じる人がいるかもしれませんが、インターネットで検索すると、データを入力するだけでCO2排出量を計算でき、グラフもつくれるサイトがあって簡単にすることができます。環境家計簿をつけて自分が実際にどれだけのCO2を排出しているのを知り、環境にどれだけ負荷を与えているのか実感してみてください。そして生活を見直してみてもどうでしょうか。

本年度もクールビズを実施

本学では「関西大学エネルギー管理標準」に基づき「省エネ推進委員会」を発足させ、地球環境負荷の低減に向けてサステナブル・ユニバーシティへのさまざまな取り組みを推進しています。平成20年度は、クールビズ、ウォームビズなどの省エネ活動の結果、電気・ガスの二酸化炭素排出量を、平成18年度に比べて205,000Kg(約0.8%)を削減することができました。これは一般家庭が1年間に排出する二酸化炭素排出量の約5.4倍分に相当します。本年度も引き続き二酸化炭素排出量の削減に努めるために、6月1日から9月30日の間は本学の全構成員を対象にクールビズを実施し、冷房時の室内温度を28℃に設定(冷房期間は6月20日から9月20日まで)、不要照明の消灯励行、冷房時の窓・扉の常時開放の禁止など省エネ活動を推進しますので、本学の構成員のみならずサステナブル・ユニバーシティへの取り組みに対し、より一層のご理解とご協力をお願いします。



第32回総合関関戦



ついに開幕!

今年で32回目を数える総合関関戦が、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスを中心にいよいよ本日、6月18日から始まりです。さあ、みんなで応援に行こう!

第32回総合関関戦日程

競技	開始時間	場所
開会式	12:45	中央芝生
6月18日(木)		
ラクロス男女	11:00	(旧)サッカーグラウンド
バドミントン	11:00	総合体育館2階小フロア
硬式野球	13:30	第3フィールド
バスケットボール男女	14:00	総合体育館2階大フロア
サッカー	14:00	第4フィールド
アイスホッケー	19:15	関西大学アイスアリーナ(本学附属)
6月19日(金)		
テニス男女	9:45	(旧)テニスコート
ソフトテニス	11:00	ソフトテニスコート
バレーボール	11:00	総合体育館2階大フロア
陸上ホッケー	14:00	サッカーグラウンド
ハンドボール男女	15:00	総合体育館2階大フロア
アメリカンフットボール	17:00	第3フィールド
ボート	9:00	神崎川(学外開催)
なぎなた(演武)	9:00	総合体育館メインフロア
アーチェリー	9:30	アーチェリー場
射撃	9:30	射撃場
器械体操	10:00	総合体育館2階小フロア
準硬式野球	10:00	第3フィールド
卓球	11:00	総合体育館1階卓球場
少林寺(演武)	11:00	総合体育館メインフロア
合気道(演武)	11:00	新学生会館合気道場
ラグビー	13:00	第2フィールド
相撲	13:00	新学生会館1階相撲場
フェンシング	13:00	総合体育館1階フェンシング場
レスリング	13:30	総合体育館1階レスリング場
拳法	13:30	総合体育館2階大フロア
古武道(演武)	13:30	新学生会館合気道場
剣道	15:00	総合体育館2階大フロア
閉会式	17:30	中央芝生

注)種目によっては、天候その他の事情などにより時間、場所などが変更されることがあります。

陸上三段跳びで山根さんが関西3連覇



6月6日に大阪市長居スタジアムで行われた関西学生選手権大会決勝で大阪学院大学3年1で下し、3年ぶり5回目の優勝を果たした。

5、075点で優勝。また、男子400m障害は高本康平さん(文3)が51秒05の自己新記録で初優勝を挙げた。

大雨のなか行われた大会最終日、「攻められる試合にしたい」と強く意識込んでいた山根さんは、大雨に加えて腰の状態が思わしくなく、コンディションは万全でなかった。「フランスが上かっただけで怖かった。上手に跳躍をまもらなければならない。雨の影響により、他選手も記録が伸びず接戦にもなった。

4月16日、19日に古橋廣之進記念浜松総合水泳場で開催された、第85回日本選手権大会にて矢野友理江さん(文3)が女子800メートル自由形で3位に輝き表彰台に登った。

全国の舞台で力強い泳ぎをみせ、8分35秒8というタイムを残した。

しかし、最終跳躍で山根さんは関西女王としての意地をみせ、12.15のジャンプ。2位とわずか3センチ差で優勝が決まった瞬間、喜びを爆発させた。喜びを爆発させた。喜びを爆発させた。

6月8日に、千里山キャンパス総合学生会館、メデアパーク凜風館にて、関西大学スポーツ振興奨学、西大スポーツ振興奨学、奨励金の授与式が開催された。この授与式はスポーツ振興奨学、奨励金委員会の議決を経て、平成21年度のスポーツ振興奨学、奨励金の支給対象者(個人、団体、第一高等学校、北陽高等学校を含む)に奨学生証奨励金交付書が授与され、奨学生および奨励団体が誇りと自覚を持ち、文武両道を実践し、さらなる種を重ねることを奨励した。

特別見学会、特別講演会を開催

特別見学会は、春季企画展「浪速の絵師 菅橋彦の画業 職業婦人繪巻」の関連イベントとして、4月25日に特別見学会と講演会を開催した。

菅橋彦は、明治から昭和にかけて大阪画壇の第一人者として活躍した画家であり、大正10年に描かれた「職業婦人繪巻」は、全長14メートルに及ぶ長大な職業婦人画である。当日は会場一杯に開陳され、参加者は熱心に見入った。

賞状を授与された奨学生と関係者

賞状を授与された奨学生と関係者

関西大学スポーツ振興奨学・奨励金奨学生証授与式を開催



関西大学スポーツ振興奨学・奨励金奨学生証授与式を開催

特別見学会、特別講演会を開催

賞状を授与された奨学生と関係者

賞状を授与された奨学生と関係者

WB C出場 岩田稔選手特別展



現在、歴史資料展示室、簡文館1階では、WB Cに出場した岩田稔選手の特別展を開催している。

本特別展は、侍Japanの員として、「2009 WBC WORLD BASEBALL CLASSIC」に出場した、阪神タイガースの岩田選手(平成18年3月経済学部卒業)を紹介するものである。

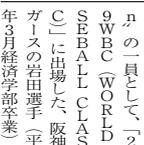
春学期 公開授業の案内

文学部身体運動文化専修・体育学教室では、次の日程で公開授業を開催します。地域住民の方々とともにコミュニケーションをとり、フレッシュアップしよう。

誰でも気軽に楽しめ、時代を先導していく職業や仕事、その一方で、子守唄や漁師のかみさん、ヨイトマケを叫ぶ土木作業婦なども、突っ込んで生きている菅橋彦の良作である。講師の明尾圭彦氏(音楽学専攻)が、大正10年に描かれた「職業婦人繪巻」は、全長14メートルに及ぶ長大な職業婦人画である。当日は会場一杯に開陳され、参加者は熱心に見入った。

文学部身体運動文化専修・体育学教室では、次の日程で公開授業を開催します。地域住民の方々とともにコミュニケーションをとり、フレッシュアップしよう。

公開講座 「飛鳥の歴史と文化遺産」



鳥・藤原の宮都とその関連資産群)。世界遺産をめざして、じつとさまざまな取り組みがなされています。その一方で、発掘調査や研究によって、あらたな情報もたらされています。飛鳥は、遺跡・史跡だけでなく、豊かな自然があり、神々がもたらした人びとの営みがあります。本学は、水年になつて飛鳥に関わってきました。その経緯と研究蓄積を基にして、あらためて「飛鳥」を考察の機軸として考えています。

日程	テーマ	講師
6月18日(木)	気功体操「デトックス呼吸で「気」をエクスト」	本学非常勤講師 山内 直美
6月29日(月)	安全教育「いざという時の救急法」	文学部助教 英世 謙
7月3日(金)	レクリエーション「ヒューマニクス」	本学非常勤講師 時森 美智子

受賞

日本機械学会関西支部 第84期定時総会講演会若手優秀講演賞(工学部) 亀井宏之助

大学院工学研究科2 古本 晴久 「フレイ・ウオーズ・モン・ドウイ事件・クローバリー」(平成21年3月17日)

日本オペレーションズ・リサーチ学会 フォロー

日程	テーマ	講師
7月4日(土)	「日本の文化財と飛鳥の文化遺産」	文学部教授・博物館長 高橋 隆博
7月11日(土)	「飛鳥の神々」	文学部教授 黒田 一充
7月18日(土)	「高松塚・キトラ古墳を知る」	文学部教授 米田 文孝
7月25日(土)	「飛鳥と西域文化」	文学部教授 西本 昌弘
8月1日(土)	「飛鳥出土の木簡」	文学部教授 乾 善彦

新刊の扉

文学部教授 陶 徳民編著 「内藤湖南と清人書画 関西大学図書館内藤文庫所蔵品集」

平成21年3月31日・関西大学出版部、定価5775円

オリヒエ・トレス著 総合情報学部教授 亀井宏之助 「フレイ・ウオーズ・モン・ドウイ事件・クローバリー」(平成21年3月17日)

西学出版部、定価3255円

※金額はいずれも税込み。

総合情報学部 教授 仲川 勇二 (平成21年3月17日)

日程	テーマ	講師
7月4日(土)	「日本の文化財と飛鳥の文化遺産」	文学部教授・博物館長 高橋 隆博
7月11日(土)	「飛鳥の神々」	文学部教授 黒田 一充
7月18日(土)	「高松塚・キトラ古墳を知る」	文学部教授 米田 文孝
7月25日(土)	「飛鳥と西域文化」	文学部教授 西本 昌弘
8月1日(土)	「飛鳥出土の木簡」	文学部教授 乾 善彦



夏期集中・後期開講講座

6月17日から受付開始!

平成21年度 開講講座の概要

現在、申込受付中(6月17日から受付開始)

※各講座・コースの詳細はエクステンション・リードセンターの講座案内を参照してください。

講座・コース名		講座・資格の概要	開講場所	
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	750点目標クラス	天六	
		650点目標クラス		
		550点目標クラス		
TOEFL®テスト対策コース(夏期集中)		留学で求められる英語力の指針留学前に必要なスコア取得をめざす	千里山	
情報処理講座	パソコン検定4級コース2組(夏期集中)		天六	
	パソコン検定3級コース(夏期集中)			
	Excelパーフェクトコース(夏期集中)			
公務員講座	国Ⅱ・地方上級対策講座	専門得点アップコース1	千里山	
	教養対策講座	教養1stステージ(夏期集中)		早期学習で教養科目を得点源に
		国Ⅱ・地方上級対策 数的処理		主要5科目コースの「数的処理」を単一科目で受講
		文章理解・資料解釈対策コース		多くの良質な過去問に触れて読み解くコツをつかむ
	国Ⅰ対策講座	刑法		裁判所事務官の合格に必要なレベルまで学習
会計職講座群	簿記検定講座	3級対策コース2組	千里山	
	公認会計士入門講座	財務会計と管理会計の入門講座を展開		
	税理士講座	簿記論コース		簿記2級レベルから始めて演習・模試まで充実したカリキュラムで合格をめざす
		財務諸表論コース		
簿・財バックコース				
社会保険労務士講座		人事・労務のエキスパート	天六	
色彩検定講座	1級対策コース	専門能力として高い評価の1級の合格をめざす	千里山	

エクステンション・リードセンターでは、キャリアアップに意欲的な学生のみならずを支援するために、さまざまな講座を設けています。それぞれの目的達成のため有効に活用して、よりよい学生生活を送ってください。

「夏期集中コース」と「後期開講講座」の受講申込受付を6月17日から開始しました。
 「夏期集中コース」では、英語講座のTOEIC®テスト対策コース、TOEFL®テスト対策コース、情報処理講座のパソコン検定4級コース・3級コース、Excelパーフェクトコース、公務員講座の教養夏期集中コース「教養1stステージ」を開講します。
 「後期開講講座」では、次の講座の受講生を募集しています。

「英語講座」
 9月中旬から開講するTOEIC®テスト対策コースの申し込みを受け付けています。
 「公務員講座」
 国Ⅱ・地方上級対策講座(専門得点アップコース1)、教養対策講座「教養1stステージ」・「数的処理」・「文章理解・資料解釈対策コース」、国Ⅰ対策講座「刑法」の申し込みを受け付けています。
 「会計職講座群」
 11月の検定試験をめざす9月開講

の簿記検定講座3級対策コース2組)の申し込みを受け付けています。「公認会計士入門講座」と「税理士講座」は11月から開講します。税理士講座では必須科目の簿記論と財務諸表論科目合格をめざします。資格関連講座では、「社会保険労務士講座」と「色彩検定講座1級対策コース」の申し込みを受け付けています。
 申込受付は、リードセンター千里山キャンパス事務室、高槻キャンパスオフィスおよびリードセンター天六キャンパス事務室にて行っています。みなさんの申し込みをお待ちしています。

9月1日(火)受付開始

講座・コース名		講座・資格の概要	開講場所	
司法講座	法科大学院入試対策講座	実践答案練習2ndステップ	ロースクール入試本試験レベルの問題を出題します	千里山

12月1日(火)受付開始

講座・コース名		講座・資格の概要	開講場所	
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	650点目標クラス	千里山	
		550点目標クラス		
公務員講座	国Ⅱ・地方上級対策講座	面接対策コース	千里山	
		専門得点アップコース2		
	教養対策講座	主要5科目演習コース		実践力の養成で、本試験に備える
		教養2ndステージ		本試験直前の対策で、効果的に得点アップ
簿記検定講座	2級対策コース2組	ビジネスリーダーの必須能力	千里山	

「経済・政治研究所」
 経済・政治研究所では、次のおり2つのテーマにて第181回産業セミナーを開催します。
 日時 7月2日(木) 13時~16時10分
 場所 千里山キャンパス 思島権議館第2会議室
 テーマ 市民自治と現代都市
 講師 市民参加研究班 主幹 法学部教授 寺尾俊徳

「3研究所合同シンポジウム」
 東西学術研究所 経済・政治研究所 法学研究所で3研究所合同シンポジウムを開催します。
 日時 7月11日(土)

「人権問題研究室 公開講座」
 人権問題研究室では、研究成果を学内および社会に広く還元し、大学内外における人権意識の向上に寄与するため、学生・教職員・市民を対象に公開講座を開催します。
 日時 6月26日(金) 13時~14時30分

「人権問題研究室」
 場所 千里山キャンパス 尚文館1階マルチメディアAVV大教室
 テーマ 多文化共存の時代「向けて」英語「極化」に対する「欧州連合(EU)の言語教育政策」
 講師 外国語学部教授 杉谷真佐子
 問い合わせは人権問題研究室まで。(電話06-6368-1182) 詳しくはウェブサイトを(http://www.kansai-u.ac.jp/human)を参照してください。(人権問題研究室)

受付場所・時間

- ☆千里山キャンパス
 【リードセンター千里山キャンパス事務室】
 千里山キャンパス第3学舎3号館2階
 10時30分~21時
 (日・祝日および本学休業日を除く)
- ☆天六キャンパス
 【リードセンター天六キャンパス事務室】
 天六キャンパス1階(大阪市北区)
 阪急千里線・地下鉄谷町線・堺筋線
 天神橋筋六丁目駅⑤出口徒歩5分
 13時30分~20時
 (日・祝日および本学休業日を除く)
- ☆高槻キャンパス
 【高槻キャンパスオフィス】
 10時~16時
 (土・日・祝日および本学休業日を除く)

問い合わせ

- 【リードセンター千里山キャンパス事務室】
 電話06-6368-0721 (10時30分~21時)
- 【リードセンター天六キャンパス事務室】
 電話06-6358-9901 (13時30分~20時)
- http://www.kansai-u.ac.jp/extension/top.html

受講相談・ガイダンスのご案内

【受講相談】
 講座や資格取得についての相談や質問は、随時エクステンション・リードセンター千里山キャンパス事務室にて受け付けています。どんな資格や試験も、早めに情報を集めて対策を立てることがポイントになります。講座について一般からないことがあれば、いつでもリードセンターに問い合わせてください。

【ガイダンス】

講座・コース	月日	時間	場所
公認会計士入門講座	10月14日(水)	18時30分~19時30分	千里山
	11月11日(水)	12時20分~13時	
税理士講座	10月21日(水)	18時30分~19時30分	千里山
	11月18日(水)	12時20分~13時	
社会保険労務士講座	6月24日(水)	18時30分~19時30分	天六
	9月25日(金)		

※内容などの詳細については『講座案内2009』p.5をご覧ください
 ※実施教室は当日リードセンター事務室前に掲示いたします。

エクステンション・リードセンター

関大通信 第363号

平成21年(2009年)6月18日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は7月10日発行の予定です

特集
学生企画

「留学」この言葉聞きあなたはどんなことを想像するだろうか?
「大変そう...」、「行き先の雰囲気は?」、「言葉の問題は?」
そんな疑問を解決するため、今回は学生広報スタッフが留学・語学研修等について取材。
経験者へのインタビューや、大学生活でも役立つ語学の勉強法など多彩な内容をお届けする。

世界に飛び出せ関大生

~留学ってどんなん?~

留学経験者に、学生広報スタッフが取材!



RUSSIA 海外での体験談 [ロシア] 滞在先のロシアにて撮影

日本人的常識は通用せず 前向きな姿勢で行こう

須鼻 曜子さん(総合情報学部 4年次生)

昨年1年間、国費留学でロシアに渡った須鼻曜子さんは、留学準備中に語学の勉強はあまりしなかったと語る。確かに語学は大切だが、難しい文法や構文を覚えるよりも相手の文化や宗教、マナーについての理解を深めておくことのほうが大切だと彼女は言う。日本人的常識が通用せず、こちらが礼儀正しいことだと信じてやっていたことが、相手にとっては不可解であったり、不愉快であることが多いようだ。「相手の性格や、どういことを考えていて、何を基準にしていて、何を求めているのか。そういったことを常に考え、理解しながら行動する。そういったことがコミュニケーションをとることの本質だと思います」と彼女は話す。

そんな中で、現地をよく知る日本人留学生や、留学経験者の存在は彼女の中で大きかった。「何か困ったときに頼りになる」ことはもちろんだが、ロシアに対して理解を深めるときに本には載っていないような「生きているロシア」の情報をたくさん得ることができたという。

「何とかなる、何とかやっという」と前向きな気持ちを持ち続けることが大切だと思います。粘り強く頑張れば言葉が通じなくても思いは相手に伝わりますから」と彼女は明るく話す。その表情には、留学で手に入れた「行動力と根性」に裏づけされた「自信」がみまがっていた。

NEW ZEALAND 海外での体験談 [ニュージーランド]

価値ある経験を積み 「考えることの大切さ」を実感

三上 洋さん(政策創造学部3年次生)

私は、ニュージーランドのワイカト大学での政策創造学部主催の海外短期留学プログラムに参加しました。費用は決して安くはないけれど、費用のことを感じる感じがなくらい、とても価値のある体験をすることができました。

ニュージーランドでは、ホームステイをしていました。ホストファミリーはとても温かく家族の一員として迎え入れてくれ、学校から帰って来るといつも「今日はどうだった」とか「何を勉強した」とか聞いてくれました。ホストファミリーの子供と一緒にテレビを見たり、毎日のようにプールに入って遊んだり、いろいろな話をしたりしました。話したい気持ちと少しの勇気があれば、たとえ語学力が無くてもちゃんとホストファミリーに気持ちは通じると思いました。

平日は、ワイカト大学で中東問題に関する講義を聴いたり、テキストを読んだり、また最後にはレポート作成やプレゼンテーションをしたりと、内容は難しいハードでしたが、とても充実していました。休日には、いろいろな観光地を回りました。

この留学を通じて学んだことは「考えることの大切さ」です。ホストファミリーに「なぜ、食事の前に手を合わせる?それは、どういう意味?」と聞かれました。日本での当たり前がニュージーランドでは当たり前でない。留学を通して、今、何気なくしていること、今の自分の生活について考えてみようと思えました。



滞在先のニュージーランドにて撮影(左から2人目)

HILIPPINES 海外での体験談 [フィリピン]

人種は違うが 触れ合いを学ぶ

植田 詩織さん(総合情報学部3年次生)

フィリピンのマニラ近郊にあるブラコンステイトユニバーシティと連携して小学校の先生に技術支援をする活動に参加しています。フィリピンでは情報機器があまり普及しておらず、情報スキルを持った先生は少ないという状況です。

今年の3月に、現地へ赴いて活動をしました。プレゼミでは英語の音楽や映画と触れ合ったり、英語でコミュニケーションをする時間をつくったりと、英語力を入れていましたが、なかなかコミュニケーションがとれず戸惑うこともありましたが、一緒に作ったバウポイントが先生が授業で使い、生徒たちが熱心に聴いている姿がとても心に残っています。



滞在先のフィリピンにて撮影(下から2列目、左から2人目)

海外に行くにあたり、ある程度の語学力があれば心強いはず。そこで、学生広報スタッフが外国語学部の田尻悟郎教授に語学の学習法について聞いてみた。

「音読が有効です。——楽しく学ぼう」

効果的な学習法は?という問いに対して、田尻教授は開口一番答えてくれた。その根拠は音読の際使用人間の器官の多さである。音読をしているとき、人は目、頭、口、耳を使うことが大きいとのこと。

教材についても「何か好きな物を選んで聞き続けるといいですよ」と興味を持てる CD や DVD の使用を勧めた。特に DVD は字幕が日本語と原語と2種類出るものがあり、日本語訳だけでなく実際何と言っているのかを確認できるのがいいとのこと。好きな物で語学を学習することで継続的にできそうな気がする。

そういった学習の中で重要なことは伸長感(前よりも伸びているという感覚)を得ること、つまり「できた」という感覚が大切なようだ。語学の学習は大変であるが楽しくやるというのがカギになりそうな感じがした。

田尻悟郎先生 プロフィール

鳥根県出身。中学校で英語教師を歴任し2007年より本学教授に着任。2004年にはニュースウィーク誌(日本語版)が選ぶ世界のカリスマ教師に選ばれた。

新型インフルエンザに関する注意事項

新型インフルエンザの感染および感染が疑われている国・地域への渡航については、本学ホームページ重要情報に掲載している『在学生・教職員の方へ』感染症危険情報にて本学の措置を確認してください。



一緒に『関大通信』を盛り上げよう! 現在、広報課では学生広報スタッフを募集しています。詳細はインフォメーションシステムでお知らせしています。

企画・編集: 学生広報スタッフ(50音順) 上塚太貴(政策3)・菅原直亮(情2)・田沢和彦(情3)・平岡菜穂(情4)

ただだけは幸いです。(大和 礼子)

筆者が初めて海外での長期滞在を経験したのは30歳代も半ばを過ぎてからだった。本学からの助成を得て英国の大学に1年間滞在了。現地の人々のスピーチや、おしゃべりについていくことはなかなか難しく、図書館で文庫リサーチをしたり英文ペーパーを書いたりして過ごすことが多かった。おかげで英文の読み・書きにはかなり慣れたが、聞くこと・話すことは今でも苦手である。ただ細かい間違いは気にせずコミュニケーションでできるようにしようと思ったし、異なる文化・社会・自然の中で生活し、あれこれ不満をいっつも英国という国が好きになった。今号では第8面で留学や語学研修について特集した。長期休みの過ごし方として参考にしていただければ幸いです。

編集後記

岡田 朋之(おかだ・ともゆき)教授 既存の枠にとわれないメデア研究を展開。兵庫県教委の情報モラル研修教材作成委員長、ネットいじめ研究会副委員長を歴任し、情報化の社会的影響への対策にも奔走している。



今月の表紙